

泡瀬・美ら島便り

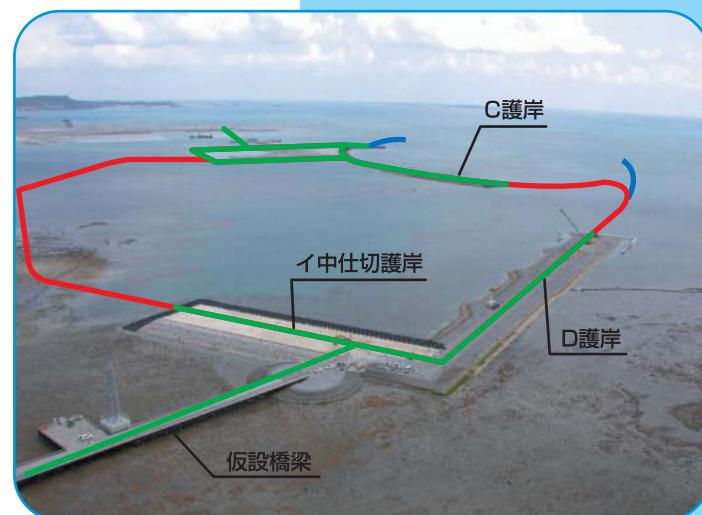


内閣府 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 中城湾港出張所

平成19年8月10日発行

工事再開のお知らせ

4月～7月迄の期間、トカゲハゼ生活圏への配慮のため工事を休止しておりましたが、8月1日から工事を再開しています。平成19年度の工事は下図に示す範囲を実施する予定で、仮設航路の浚渫工事と外周護岸の築造工事を行います。今年度の工事により、約50haの範囲が閉水域となります。なお、工事の実施にあたっては、環境への影響に配慮して実施していきます。



事業の実施状況と今後の(予定)

区分	工種	工事概要	平成19年度											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
国	汚濁防止膜	設置・撤去												
	護岸工事	護岸延長 約1,460m												
	仮設航路浚渫工事	浚渫 約110,000m ³												
県	汚濁防止膜	設置・撤去												
	護岸工事	護岸延長 約200m												

イベントの活動報告



7月22日、海の日のイベントとして市民を対象とした「仮設橋梁の一般開放」を行いました。普段は工事用車両・関係者だけが利用している仮設橋梁ですが人工島外周護岸の整備状況を市民の方々に出来るだけ間近で見て頂きたいということで、開催したものです。

当日は子供からお年寄りまで総勢155名の方にご来場頂きました。ご来場の方からは、「こんなに整備が進んでいるとは知らなかった」、「将来出来る、人工ビーチで遊ぶのが楽しみ」、「また、このような機会を作つて欲しい」などの感想・要望がありました。

今後とも同事業に対する市民の理解が一層深まっていくよう努めて参ります。

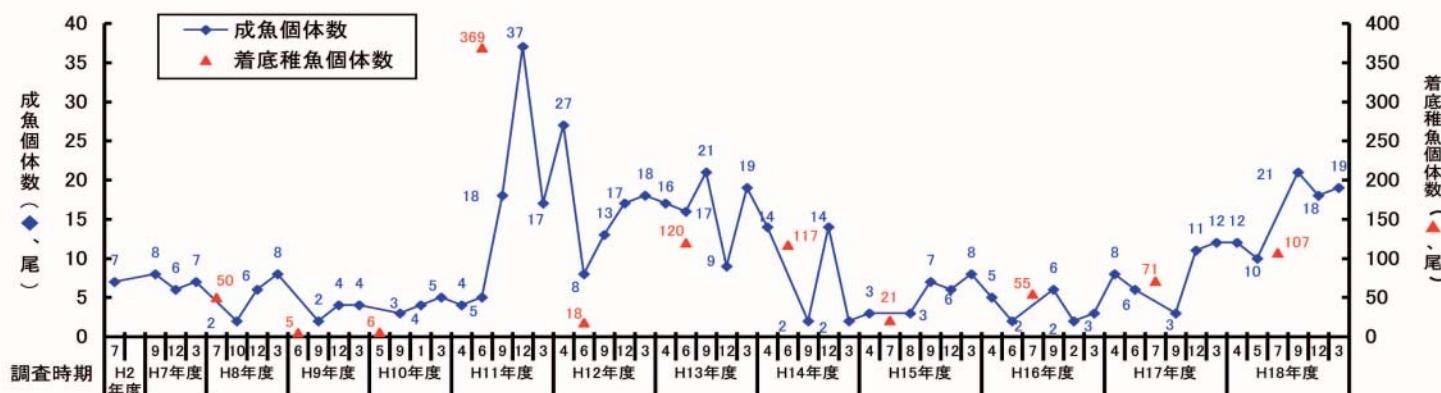


工事中の環境監視について ~泡瀬地区のトカゲハゼ~

工事を進めるにあたっては、周辺環境への影響の有無を確認するため、環境監視調査を実施しております。今回は、監視項目の中のトカゲハゼについて、これまでの調査結果をお知らせいたします。泡瀬地区のトカゲハゼは、比屋根湿地前面の干潟での生息が確認されております。また、4～7月の期間はトカゲハゼの稚魚が沖と干潟を行き来することから、この期間は海上工事を休止する等の保全対策を行っています。なお、これまでのところ工事による大きな影響は確認されておりません。また、新港地区ではトカゲハゼ保全のため、人工干潟を造り多数生息出来るようになった事から、泡瀬地区でも今後人工干潟を造つてトカゲハゼの生息地を増やす取組みを行っていく予定です。



■成魚個体数と着底稚魚個体数の経年グラフ



■トカゲハゼって!?

トカゲハゼは全長15cm程度のハゼの仲間で、沖縄ではミナミトビハゼやトビハゼと併せてトントンミーと呼ばれています。背びれが細長く伸びるのが特徴です。トカゲハゼは泥干潟に棲み、泥中に深さ20cm程度の巣穴を掘って生活していますが、春は稚魚がふ化したあと1ヶ月程沖合いで生活してから、干潟に戻って生活をしています。

委員会の実施報告

工事を実施するにあたっては、工事中の環境への影響の有無を確認する環境監視委員会と海草の移植や人工干潟の検討を行う環境保全・創造検討委員会を開催しております。なお、委員会は公開で行っており、また、委員会資料については、中城湾港出張所のホームページでも閲覧出来ます。

- 平成19年度 第1回中城湾港泡瀬地区環境保全・創造委員会 (平成19年8月9日開催済)
- 平成19年度 第1回中城湾港泡瀬地区環境監視委員会 (平成19年7月12日開催済)
- 平成19年度 中城湾港泡瀬地区環境保全・創造検討委員会 第1回人工島環境整備専門部会 (平成19年7月10日開催済)
- 平成19年度 中城湾港泡瀬地区中城湾港泡瀬地区環境保全・創造検討委員会 第1回海草藻類専門部会(平成19年7月4日開催済)



■ご意見・お問合せは 内閣府 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 中城湾港出張所
〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3-25 TEL (098)938-9640 HP <http://www.dc.ogb.go.jp/nakagusukuwankou/>